

ミタカ・ミライ「交通ソリューション計画」 —全世代が安心安全で暮らせる地域を目指すための提案

カラテキ

門脇日向, 遠藤拓真, 高久元寿, 迫俊太朗, 漆野心晴

亜細亜大学 都市創造学部 都市創造学科

キーワード：自転車事故防止に対する意識, 安心安全, 自転車レーン

1. はじめに

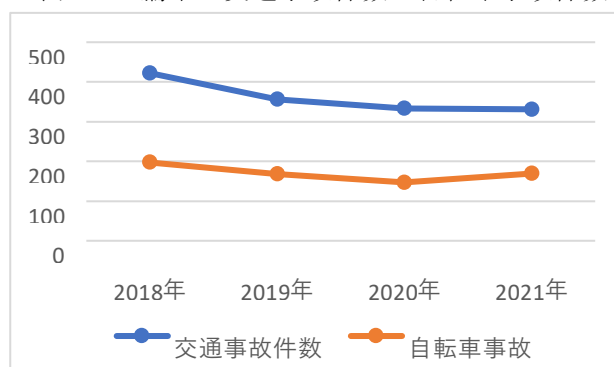
現在の日本では、自転車事故件数が年々増加している。自転車の事故で、自分や事故の相手が大きな怪我をしまい、その後の生活に支障がでてしまうという事や事故によって最悪の場合は自身が亡くなってしまったり相手の命を奪ってしまうというような悲惨な結果を招いてしまう事もある。そのため、日本では自転車に対する取り締まりが強化されていく動きが見られる。つまり、日本全体で自転車事故防止に対する意識が高まっている。

今回三鷹市で発生している自転車事故を減らしていくための提案をする中で、三鷹市が事故が少なく、安心安全な街づくりをしているという活動の力になりたいと考える。

2. 三鷹市の自転車事故の現状と考察

三鷹市で発生している交通事故は 2021 年の 1 年間で約 328 件起きている。1 年間で起きる交通事故の約 328 件の内、自転車事故は 1 年間に約 169 件起きている。このように、自動車などではなく自転車による事故が 1 年で起きる交通事故の半数以上を占めているのである。自転車事故は駅の近くや交差点での発生が多く、毎年自転車事故によって怪我をしたり亡くなる人がいて、三鷹市に住む人々の安全を日々脅かしている。そのため、自転車事故というのが三鷹市では年々問題視されてきている。

表 1：三鷹市の交通事故件数と自転車事故件数

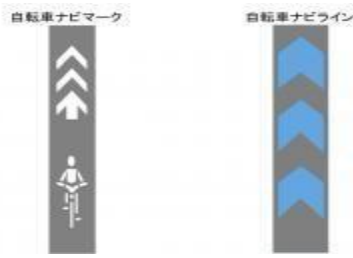


出典：「警視庁の統計と警視庁都内自転車の交通事故発生状況を参考に作成」

上記のグラフにある通り、三鷹市で発生している交通事故は 2018 年が約 422 件、2019 年が約 356 件、2020 年が約 333 件、2021 年が約 331 件と年々減少してきている。自転車事故は 2018 年が約 197 件、2019 年が約 168 件、2020 年が約 147 件、2021 年が約 169 件と増加したり減少したりと波が激しい。どの年も自転車事故が大体半数を占めているというのが現状である。

三鷹市では自転車事故が多く発生しているだけであって 1 年間の交通事故の件数は周りの市町村と比べても多くはない。そのため、三鷹市で発生している自転車事故防止の対策をしっかりとって自転車事故を減らしていくことができれば、三鷹市での交通事故件数は減っていき、市民の安全が守られて全世代が安心安全で暮らせる地域の実現に近づける。そのことにより、三鷹市に引っ越してくる人が増え、三鷹市に住もうと前向きに検討する人が増えていくと考える。

3. 提案



出典：三鷹市「自転車ナビマーク・自転車ナビライン」

上記の画像にあるように、従来の自転車レーンは車道に自転車マークと進行方向が記されていたり、車道と自転車レーンが白線で区別されていたり自転車レーンが青く塗られていて車道と区別されている。しかし、自転車レーンと車道を白線で区別しただけでは自転車走行中に車が簡単に自転車レーンに入ってきたりするため自転車側はとても危険である。また、自転車レーンの上で停車する車も多く見受けられて自転車が車道にはみ出して走行することも多々ある。

そこで、そのようなことを起こさないための第1の提案として、自転車レーンと車道を白線で区別するのではなくて、ゴムポール等で、車道と自転車道をしっかりと区別する。そうすることによって、車と自転車の接触事故を防ぐことや、車が自転車レーンに侵入してくるというのを防げる。

第2の提案として、自転車レーンと車道を区別する白線が夜間に見えづらくなったり、劣化で白線が消えてしまい、より見えなくなってしまうので、それは自転車事故に繋がってしまう可能性がある。夜間でも自転車レーンと車道を、自転車に乗っている人と車を運転している人がはっきりと認識できるように、自転車レーンのアスファルトにLED等の明かりを一定間隔で多く埋め込んで、夜間でも認識できるようにする。

また、第1の提案で挙げたゴムポール等の先端付近にもLED等の明かりをつけておくと車の運転者は夜間であっても自転車レーンをはっきりと認識できる。アスファルトに埋めたりゴムポール等につけるLED等の明かりは太陽光発電で光るもの

が良い。太陽から電力を得られるため省エネルギーで使うことができる。また、自転車レーンのアスファルトにLED等の明かりでジブリ等のキャラクターを演出するとそのキャラクターを見たいからしっかりと自転車レーンを走行する自転車が増えたり、三鷹市が明るくにぎやかになるのではないかと考える。

4. おわりに

子どもから大人まで多くの人を使う自転車は、簡単に人を傷つけて人の命までも奪ってしまう乗り物である。多くの人が自転車を使うからこそ自転車事故という悲しい事故を三鷹市から無くしていくためにも自転車事故防止の意識を今まで以上に高めていって対策を進めていき、三鷹市に住む人々が安心安全に暮らせるようにするのが良いのではないだろうか。